

国立研究開発法人科学技術振興機構 平成 30 年度 第 1 回契約監視委員会 議事要旨

開催日時：平成 30 年 6 月 15 日(金)14:00～16:14

開催場所：科学技術振興機構 東京本部 10 階 役員会議室

出席者：青山委員長、石正委員、井上委員、奥委員、徳永委員、柳澤委員、山口委員

説明者：契約部長、契約調整課長、調達要求部署担当者

オブザーバー：上席フェロー(コンプライアンス担当、監査・法務部長)

事務局：監査・セキュリティ課 課長、課員

- 契約監視委員会規則第 6 条第 2 項の規定による構成委員の 2 分の 1 以上の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。
- 委員長は今年度も引き続き青山委員長が執り行うことで了承された。

【議事内容】

1. 平成 29 年度第 3 回契約監視委員会議事要旨確認

資料 3 に基づき、前回委員会(平成 30 年 2 月 22 日開催)の議事要旨の確認が行われた。

2. 平成 29 年度の契約状況および契約自己点検結果等について

資料 4、資料 5 に基づき、契約部より報告があり、了承された。

3. 平成 29 年度調達等合理化計画の自己評価結果について

資料 6 に基づき、契約部より報告があった。なお、主な質疑と応答は以下のとおり。

(委員)競争性のない随意契約で、電気やガスは、最近、供給業者が多様化しているが、そのあたりの対応はどのようになっているか。

(JST)日本科学未来館やつくば資料センターにおける電気のように入札を行っているものと、管理会社等への按分負担のため競争性のない随意契約としているものがある。自前で契約相手先を選定可能なものは、競争の成立が困難なエリアを除き、基本的に入札を行う方針としている。平成 30 年度の契約からは、自前で契約相手先を選定できるところはすべて入札に移行した。なお、すでに入札に移行している契約については、複数者応札となっている。

(委員) 調達等合理化計画の「不祥事の発生の未然防止・再発防止のための体制の整備」において、
監査・セキュリティ課が点検を行う旨の記載があるが、その実施状況はどうなっているか。

(JST) 内部監査において、契約状況について点検する際は、本計画に記載の視点に留意して点検を
実施している。

4. 平成 30 年度調達等合理化計画の策定について

資料 7 に基づき、契約部より報告があった。なお、「不祥事の発生の未然防止・再発防止のた
めの体制の整備」における契約の点検については、一部表現を修正することで了承された。

5. 平成 30 年度個別契約案件の点検について

○個別契約案件の点検

資料 8 および資料 9 に基づき、点検候補選定基準により選定された 3 つの個別契約案件につい
ての点検が行われた。それぞれの案件ではとくに問題となる契約はなかった。

なお、今後、必要に応じて工事案件についても選定していくこととなったこと、および点検の視点
としては他の案件と変わらない旨の説明があった。

主な質疑と応答は、以下のとおり。

点検案件①(1 者応札・応募) 平成 30 年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業

さくらサイエンスハイスクールプログラム運営支援

(委員) 1 者応札となった要因について、どのように分析しているか。

(JST) 契約を 1 ヶ月前倒して広めの応募を試みたが、事前準備や経験、および事前準備の作業量
が障壁となったと思われる。

(委員) 潜在的には競争入札とするための応募業者は存在すると思われるが、なにか検討しているこ
とはあるか。

(JST) 準備期間を長めにすることやプログラムの作成プロセスを検討するほか、候補となる業者に話
をすること等を検討したい。

(委員) 契約を切り分けることは可能か。

(JST) 運営を分割してしまうと非常に複雑化することもあり、切り分けは困難と考える。また招聘者の
大半が未成年者であるため、健康管理などのしっかりしたノウハウが必要であり、同一業者に
よる同一レベルのサービスを提供することが、トラブルを避ける意味でも望ましい。

(JST)各大学の国際交流担当部署等または高校と相談して、JSTが最初の関係を作り、承諾を得た段階で、業者の方と一緒にあるいは単独で訪問し、詳細な詰めをしてもらっている。大学や高校以外で、例えば科学関係や文化体験のプログラムに関しては、業者からの提案をお願いしている。

(委員)引き続き、競争性を担保するような努力を継続していただきたい。

点検案件②(少額随契) A誌へのシンポジウム広告掲載

(委員)A誌を広告掲載誌とした理由はなにか。

(JST)ビジネス関係で5者ぐらいを調べた。なかでも発行部数が1番多かったビジネス誌では読者の約9割が男性であった。発行部数が2番目に多く、読者の44%が女性ということでA誌を選定した。金額的な差異はあまりなかった。

(委員)広報の方法は多々あると思うが、できるだけ広く、かつ研究者だけではなく、ビジネスに携わる方にも広く来ていただくためには、どのような手法が効果的かを今後のためにも検証していただきたい。契約上の問題はとくにないと思われるが、反響等を含めた事後分析は必要である。また、アンケートをとる際にシンポジウムについてどのような情報源で来場されたのかを分析することも有効といえる。

点検案件③(少額随契) 社会問題・社会不安に関する時系列分析、他3件

(委員)この4件を選定した理由は、期間中、同一部署から同一業者への調達を4回行っており、類似案件ではないかという点にある。契約締結日が数日置きであったので、まとめられなかったのかという疑問が残る。1つの契約にまとめることは考えられるのか。

(JST)これらについては、年度ごとに関連する契約が別にある。とくに、俯瞰調査は3年に1度ぐらいの単位で行うものである。その大きな調査を補強するために追加で行ったケースが今回の案件になる。目的が異なる個別案件と捉えて個別管理をすべきという考えのもとで進めていたため、個別の契約として対応した。また、本件ではまとめることで得られる効率性はとくにないと考えている。今後とも、まとめれば効率的になるものについては、適切に対応していきたい。

6. その他

- (1) 平成30年度調達等合理化計画、平成29年度の自己評価結果については、先ほどの修正部分を見直して6月末までにホームページで公開する。なお、委員会の議事録は1カ月前後ぐらい

での公開を予定している。

- (2) 今年度の委員会の開催は、前年度と同様に、3回の開催を予定している。次回は10月ぐらいの開催をめどに日程調整を行う。

【配付資料】

- 資料 1 契約監視委員会 委員名簿
- 資料 2 契約監視委員会規則
- 資料 3 議事要旨(平成 29 年度第 3 回契約監視委員会)
- 資料 4 平成 29 年度契約状況について
- 資料 5-1 自己点検結果等について
- 資料 5-2 点検項目表(自主点検・チェック用)
- 資料 6 平成 29 年度調達等合理化計画の自己評価結果(公表資料案)
- 資料 7 平成 30 年度調達等合理化計画(案)
- 資料 8-1 点検候補契約案件一覧(平成 29 年 12～平成 30 年 3 月契約、1 者応札・応募)
- 資料 8-2 点検候補契約案件一覧(平成 29 年 12～平成 30 年 3 月契約、競争性のない随意契約)
- 資料 8-3 点検候補契約案件一覧(平成 29 年 12～平成 30 年 3 月契約、少額随契)
- 資料 9-1 個別契約案件一覧(点検案件のみ)
- 資料 9-2 点検案件①(1 者応札・応募)
- 資料 9-3 点検案件②(少額随契)
- 資料 9-4 点検案件③(少額随契)
- 参考 1 点検候補選定基準(1 者応札・応募、競争性のない随意契約)
- 参考 2 点検の視点(少額随契)
- 参考 3 契約監視委員会における新規点検案件について